

アルゴン (不活性ガス 無色・無臭)

分子式	Ar	分子量	39.948	容器の色	ねずみ色
用途	電気・電子工業用、製鋼・冶金工業用、溶接用、金属精錬用、分析機器用				
該当法規	高圧ガス保安法				
物理的性質	不燃性の無色、無臭のガス 比重：1.38 沸点：-185.7 液比重：1.40 (-186)				
化学的性質	化学的に安定で、通常の条件では反応しない。				
注意事項	<液化アルゴンの場合> 皮膚に触れると数秒で凍傷を起こす。 一部の炭素鋼などある種の材料を脆化させる。 蒸発すると大量のアルゴンガス(体積786倍)となるので、少量であっても漏えいに注意する。 密閉したり、換気の悪い場所に置いたりしない。				

アルゴン（不活性ガス 無色・無臭）

事故時の措置

消火方法	-	処理剤	-
漏えいしたとき	<p>バルブを閉めるなど、漏えいを止める。</p> <p>容器からの漏えいが止まらない場合には、通風のよい場所に移動する。</p> <p>施設からの漏えいが止まらない場合には、通風をよくして事故の発生を大声で告げ、避難させる。</p>		
火災のとき ・ 周辺での火災のとき	<p>不燃性なので火災の危険はない。</p> <p>周辺での火災のときは、容器を風上の安全な場所に移動する。移動できない場合は、容器及び周囲に散水する。</p>		
救急処置	<p>凍傷になった場合、まず凍傷を起こした部分の衣服を取り除く。次に患部を冷水で徐々に暖める。患部が常温に戻り、更に熱を持つ場合は冷水で冷やす。ガーゼなどで患部を保護して医師の処置を受ける。</p> <p>凍傷の主な症状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚がなくなり、黄色いろう質状になる ・暖まると、水ぶくれができる <p>痛みが出ても患部を絶対にこすらない（化膿しやすくなる）</p> <p>眼に噴出ガスを受けた場合は、冷却しすぐに医者処置を受ける。</p> <p>吸入した場合、新鮮な空気中に移し、衣服をゆるめ毛布などで暖かくして安静にさせる。呼吸が弱っているときは純酸素又は炭酸ガス1.5%以下を含んだ酸素を吸入させる。なお、酸素ガスは乾燥しているから加湿するのがよい。</p>		
特記事項 (人体に対する影響)	<p>純粋なアルゴン自身には毒性はないが、濃度が高くなると単純窒息性の危険がある。</p>		
緊急通報例 119(消防署)	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で</p> <p>2 なにが 「不燃性のアルゴンガス」が</p> <p>3 どうした 「漏れています。」</p> <p>4 時間は 時 分 頃 です。</p> <p>5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は 工場 課の です。</p>		